



# 地域再生 協議会だより

事務局 百合が丘 2 - 29 - 6 (百合が丘老人憩いの家) 59 - 9356 (火、金午前)

## 古民家部会 相次ぎ自主イベント

# 東京農大と発酵茶開発へ

古民家活用部会（松本篤子部会長）は東京農業大学と連携した発酵茶の試作、絵本読み聞かせ会、吊るし雛展開催など H29 年度中に 7 事業を推進することになった。レーザーカッターを使ったクラフト品の試作（11 月中旬）も神奈川大と連携して取り組む。また年明けからの吊るし雛展では期間中 1,300 人の来場者を見込んでいる。民間財団からの助成金を活用した企画を継続的に実施することで、一般利用を開始した「古民家ふるさとの家」の認知度を高めたい考え。

最も力を入れている発酵茶試作では、普通の茶葉と無農薬オリーブ葉を原料にした 2 タイプを手掛ける。製造過程で乳酸菌を投与する発酵茶は整腸、降血圧効果など健康食品として注目されているものの、徳島県など一部地域でしか作られていない。地域再生協議会は近く東京農大と共同研究契約を結び、オリーブ発酵茶の製造に着手する。原材料調達や諸作業は古民家部会が、製造技術の指導や製造工程でのデータ分析などは内野昌孝教授など農大関係者が担当する。再生協は研究経費の一部を負担する。出来上がった製品は試飲会などを開き、将来の商品化の可能性を探っていく。

東京農大、神奈川大との連携以外の事業はハーブ化粧石鹸づくり（7 月 23 日）、ドミノ編み靴下づくり（12 月中旬）、絵本読み聞かせ会（10 月中旬）、一色里山散策会（9 月）、吊るし雛展（来年 1 月）。会場はいずれも古民家ふるさとの家。

## 合同練習始まる

## やまゆい合唱団

やまゆい合唱団の練習が 6 月 11 日（土）から始まった。百合が丘児童館での初回練習には 78 名が出席、初日から男声、女声各 2 パートに分かれて声を張り上げた。



80 人が声を合わせ初回練習

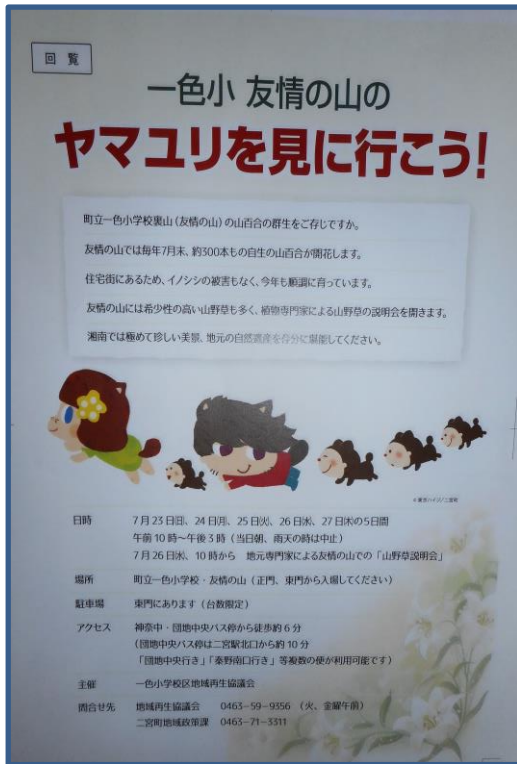
当日は岡村協議会会長、三浦文化イベント振興部会長からの説明の後、山内みどり指導リーダー（武蔵野音大講師）が指導者、ピアノ奏者を紹介。分厚い楽譜を見ながらの発声指導が始まった。その後、各パートごとの指導があり、最後は全員が揃って合唱した。

山内リーダーからは「初日には上出来。楽しく頑張りましょう」との講評があり、あっという間の 3 時間を終えた。（裏面へ続く）

# 山百合公開、7月末5日間

## 26日(水)に山野草説明会も

一色小友情の山の群生やまゆりの一般公開が、7月23日(日)から27日(木)までの5日間に決まった。公開は昨年に続く2回目で、学校連携部会(加藤良輝部会長)が準備を進めている。今年は公開日を集中させたほか、少ない台数ながらも駐車場を用意する。26日(水)には、山野草の専門家による現地説明会を予定している。今年の700人を上回る入場者を期待している。



一色小 友情の山の  
**ヤマユリを見に行こう!**

町立一色小学校裏山(友橋の山)の山百合の群生をご存じですか。  
友橋の山では毎年7月末、約300本の自生の山百合が開花します。  
住宅街にあるため、インシの被害もなく、今年も順調に育っています。  
友橋の山には希少性の高い山野草も多く、植物専門家による山野草の説明会を開きます。  
湘南では極めて珍しい美蓼、地元の自然遺産を十分に堪能してください。

日時 7月23日、24日、25日、26日、27日の5日間  
午前10時～午後3時(当日朝、雨天の時は中止)  
7月26日、10時から 地元専門家による友橋の山での「山野草説明会」

場所 町立一色小学校・友橋の山(正門、東門から入園してください)

駐車場 東門にあります(台数限定)

アクセス 神奈中・国体中央バス停から徒歩約6分  
(国体中央バス停は二宮駅北口から約10分  
「国体中央行き」「秦野南口行き」等乗車の便が利用可能です)

主催 一色小学校区地域再生協議会

問合せ先 地域再生協議会 0463-59-9356(火、金曜午前)  
二宮町地域政策課 0463-71-3311

一色小校庭裏の友情の山には約300株のやまゆりが自生。心ない人の持ち帰りや獣害によって群生地が少なくなっている中、希少な「地域自然資産」としての評価が高まっている。学校敷地内という立地上の制約から一般公開が見送られてきたが、再生協による働きかけと一色小、町教育委員会の理解によって夏休み入りの公開が実現した。昨年は各メディアが取り上げたせいもあって、町外からの見学者も多かった。

2年目の一般公開では、山野草の見学・説明会を併せて実施する。昨年来行ってきた専門家による山野草の生育調査では、吾妻山などに比べてより自然な環境が保たれているため、希少な山野草が多く生育していることが明らかになっている。学校連携部会では、これらの植物について名入り立札を立てるなどの手を打った。現地での見学・説明会には調査に携わってきた山本絢子、和田美乃さんの2人が講師をつとめる。

東京ハイジ制作のポスター 昨年の公開以後、県の専門家の指導に沿って山百合の生育環境を改善する間伐を行っており、雑木、シュロなど65本を除去した。また、除草や施肥、殺虫などにも気をつかいつつ世話をしてきた。この結果、昨年よりも百合の生育、発芽が良くなっており、例年以上の開花が期待できそうという。

## ハーフ石鹸を作ろう—夏休み、親子で

日時 7月23日(日) 時間 午前の部 10:00～ 午後の部 13:00～

募集 先着40名

費用 大人 1,000円 子供 500円(含む材料、傷害保険)

場所 古民家 ふるさとの家 持ち物 エプロン・タオル

申し込み 地域再生協議会事務局(火、金 9時～12時) 0463-59-9356

[qqzg6rm9k@shirt.ocn.ne.jp](mailto:qqzg6rm9k@shirt.ocn.ne.jp)

0463-72-4933(松本) [miwataro@mj.scn-net.ne.jp](mailto:miwataro@mj.scn-net.ne.jp)